



ラグビー部後援会

運営委員 宮下 良友

ラグビーとの縁、そして熊谷へのおもい

私とラグビーとの最初の出会いは、今から三十年以上前、幼い頃に父に連れられて熊谷ラグビー場で観戦した早明戦だったと記憶しています。当時はルールも分からない子どもでしたが、選手が激しくぶつかり合う迫力と、満員の観客が作り出す熱気は今でも鮮明に覚えています。

学生時代にはラグビーをする機会はありませんでしたが、高校卒業後に陸上自衛隊へ入隊し、ラグビーが盛んな第1空挺団に所属したことから、戦技（球技）の一つとして約6年間ラグビーを経験しました。仲間のために体を張ること、苦しい時こそ声を掛け合うこと、最後まで諦めずに戦うことなど、ラグビーを通じて学んだ精神は、その後の仕事や人生にも生かされています。

2019年のラグビーワールドカップ以降は、新しく生まれ変わった熊谷ラグビー場で観戦する機会も増えました。世界最高峰の試合を地元で観戦できたことは熊谷市民として大きな誇りであり、改めて熊谷が「ラグビータウン」であることを実感しました。数年前から三男がラグビースクールへ通い始め、仲間と声を掛け合いながらボールを追う姿を見ていると、ラグビーを通じて思いやりや最後まで諦めない姿勢が育まれているのを感じます。また、2023年から後援会へ入会し、菅平合宿の応援ツアーにも参加させていただきました。選手の皆さんが厳しい練習に励む姿や、それを支える皆様の熱意に触れ、応援したいという思いは一層強くなりました。

私自身、熊谷で造園業を営み、地域に根差して仕事をさせていただいています。だからこそ、同じ熊谷の地で日々鍛錬を重ねる立正大学ラグビー部を、地元の一員として応援していきたいと思っています。大学選手権出場という目標を実現し、熊谷の子どもたちの憧れとなり、地域に夢と感動を届けるチームへとさらに飛躍されることを心から願っています。私も後援会の一員として、これからも変わらず応援を続けてまいります。



ラグビー部 部長

宮崎 善幸

日頃より立正大学ラグビー部男子・ラグビー部女子の活動に温かいご支援とご声援を賜り、心より御礼申し上げます。部長を務めております宮崎善幸です。

まずは、後援会の皆様に深く感謝申し上げます。選手たちが安心して競技に打ち込み、成長できる環境が整えられているのは、日頃から支えてくださる皆様のお力添えがあってこそです。試合会場でのご声援や様々なご支援は、選手たちにとって大きな励みとなっています。ラグビー部を代表して、改めて心より御礼申し上げます。

現在、本学ではラグビー部男子、ラグビー部女子がそれぞれ高い目標に向かって活動しております。男女ともに競技力の向上を目指しながら、ラグビーを通じて人として成長することを大切にしています。互いを尊重し、多様な価値観を認め合いながら活動する環境は、これからの社会を生きる学生たちにとって大きな学びの場となっています。男子、女子それぞれが挑戦を続けながら、立正大学ラグビー部としての誇りを持って活動しています。

また、私たちが大切にしているのは、教育とクラブ活動の両立です。大学スポーツは勝敗だけを競う場ではありません。学生たちは学業に真剣に取り組みながら、競技活動を通じて社会で必要とされる力を身につけていきます。特に本学ラグビー部では、「主体性」を育むことを重視しています。指示を待つのではなく、自ら考え、自ら行動し、自ら責任を持つ。その積み重ねが、競技力の向上だけでなく、一人の人間としての成長につながると考えています。

そして私たちが目指しているのは、強いラグビー部である前に、「誰からも愛され、応援されるラグビー部」であることです。そのためには、選手一人ひとりが競技者としてだけでなく、一人の人間として信頼される存在にならなければなりません。挨拶や感謝の気持ち、仲間を思いやる姿勢、地域や大学への貢献など、日々の行動の積み重ねが応援されるチームをつくります。私たちは「誰からも愛され、応援される人間になること」を大切な価値として掲げ、日々の教育に取り組んでおります。

これからも立正大学ラグビー部男子・ラグビー部女子は、競技力の向上と人間力の成長を両立しながら、学生たちの未来につながる活動を続けてまいります。後援会の皆様には、今後とも変わらぬご支援、ご声援を賜りますようお願い申し上げます。

// ラグビー部 男子



ラグビー部監督 堀越 正己 (ホリコシ マサミ)



後援会の皆様、日頃より温かいご支援と熱いご声援をいただき、心より御礼申し上げます。

我がラグビー部は後援会発足から22年目を迎え、長き歴史を歩んでまいりました。今日の礎を築いてくださった故・八木橋初代会長、10年間にわたり部を支え続けてくださった大久保前会長、そして6年目を迎え

られた後藤会長をはじめ、歴代の会員の皆様には物心両面から多大なるご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

今シーズン、私たちは1部リーグ昇格後5年目の戦いを迎えます。当然ながら厳しい激戦が予想されますが、私たちの目標は決してこの場所に留まることではありません。悲願である「大学選手権出場」という大舞台を明確に視野に入れ、一戦一戦を泥臭く、全力で戦い抜く覚悟です。

今年度は26名の頼もしい新入生が加わり、総勢115名となったチームは今までにない活気に満ちあふれています。この夏に挑んだ過酷な限界突破の合宿を全員で乗り越えたことで、個々の技術だけでなくチームの絆もより強固なものとなりました。いよいよ開幕する秋の本番に向けて、選手・スタッフの士気は最高潮に達しております。

22年間にわたり紡がれてきた皆様の熱い想いを胸に刻み、勝利への執念を燃やして邁進いたします。今期も変わらぬ熱いご声援をよろしくお願い申し上げます。



ラグビー部男子アシスタントコーチ 梶 伊織 (カジ イオリ)



◇出身地：奈良県大和郡山市

◇出身校：御所実業→大東文化大学

◇経歴：埼玉パナソニック

ワイルドナイツ (2014~2025)

◇趣味：YouTube鑑賞・コーヒー

日頃より立正大学ラグビー部へのご支援とご協力いただき誠にありがとうございます。

一昨年からスポットコーチとして関わらせていただき、昨シーズンからディフェンス・ブレイクダウンを担当させていただいております。アシスタントコーチの梶伊織と申します。よろしくお願いいたします。

目標に掲げている「大学選手権出場」に向けて学生たちは日々努力を重ね成長しています。昨シーズンから積み重ねてきたディフェンスシステムやボール争奪のスキルの向上を図ってまいりました。

26年度春季大会ではディフェンスで前進していく立正スタイルで帝京大学や慶應義塾大学にチャレンジしてきました。

結果は決して良いとは言えませんが毎試合スティールやカウンターラックを決めるなど、日々の練習で意図していることが格上相手にも通用する機会が確実に増えていると実感しております。

皆様と最高の景色を見られるよう尽力して参ります。今シーズンも変わらぬ応援よろしくお願い致します。

ラグビー部男子共同キャプテン

Vilikesa Rimorimo・宮川 晴登・毛内 孝樹



Vilikesa Rimorimo

(ヴィリケサ・リモリモ)

4年

I will try my best to lead the team and set good examples for the team to achieve more success.

私は全力でチームを率いて、チームがより多くの成功を収めるために良い手本となるよう最善を尽くします。



毛内 孝樹

(モウナイ コウキ)

4年

日頃より部の活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

私たちは「大学選手権出場」を目標に掲げ、日々の練習に全力で取り組んでいます。春シーズンでは思うような結果を残せなかった試合もありましたが、多くの成長を得ることができました。

これから迎えるリーグ戦では、春に得た経験を生かし、より完成度の高いチームへと成長していきたいと考えています。

今シーズンも立正大学ラグビー部の活動にご理解とご協力をよろしくお願い致します。



宮川 晴登

(ミヤカワ ハルト)

4年

今年は「commit」というスローガンを掲げ、目標である大学選手権出場に向けて日々練習に励んでいます。

昨年度はリーグ戦5位となり、立正大ラグビー部の過去最高順位に並ぶ成績を収めることができました。しかし、今年のチームが目指しているのはその先にある大学選手権出場です。

応援よろしくお願い致します。



				
鈴木 新 プロップ 桐生第一	笠原 璃王 プロップ 熊谷工業	中村 泰己 フッカー 北越	齋藤 勇斗 フッカー 尾道	林 暖流 プロップ 本庄第一
				
金井 忠好 プロップ 鹿児島	赤川 健心 ロック 九州学院	小菅 溪太 ロック 御所実業	島村 竜矢 ロック 本庄第一	志賀 健造 ロック 仙台育英
				
五十嵐 大晴 フランカー 北越	須山 岬 No. 8 本庄第一	Brendan Gouws No. 8 Outeniqua High School	渡辺 滯 スクラムハーフ 高鍋	佐藤 奏太 スクラムハーフ 東海大相模
				
菅谷 侑生 スタンドオフ/センター 八千代松蔭	吉田 海里 ウィング 桐生第一	須賀 若葉 センター 國學院栃木	橋本 宗 センター 倉敷	近藤 龍之介 センター 秋田工業
				
富田 将生 センター 熊谷工業	小林 蒼天 ウィング 東海大仰星	矢後 泰一 ウィング 東京	黒木 幹太 フルバック 新田	久尾 朝陽 分析・サポート 明和県央
	総勢 26名の 新入生です。 応援よろしくお願いします。			
礪元 溪太 フッカー 常翔学園				

※2026年8月20日現在

令和7年度関東大学リーグ戦1部 試合結果

立正大学は3勝4敗1部リーグ5位で終了

日程	勝敗	スコア	対戦相手	試合会場
9月14日(日)	●	3-50	東海大学	東海大学グラウンド
9月28日(日)	●	31-38	流通経済大学	小田原市城山陸上競技場
10月5日(日)	●	24-35	大東文化大学	ハワイアンズスタジアムいわき
10月25日(土)	●	16-26	東洋大学	川越運動公園陸上競技場
11月9日(日)	○	26-22	日本大学	足利ガスグラウンド(旧陸上競技場)
11月16日(日)	○	20-10	関東学院大学	関東学院大学グラウンド
11月30日(日)	○	33-31	法政大学	AGFフィールド



令和8年度関東大学春季交流戦大会 試合結果

立正大学は1勝4敗Bグループ6位で終了

日程	勝敗	スコア	対戦相手	試合会場
4月26日(日)	●	26-40	流通経済大学	流通経済大学第1グラウンド
5月10日(日)	●	14-87	帝京大学	帝京大学グラウンド
5月24日(日)	●	16-26	日本体育大学	日本体育大学グラウンド
6月6日(土)	●	10-54	慶應義塾大学	立正大学グラウンド
6月21日(日)	○	24-22	法政大学	立正大学グラウンド



令和8年度関東大学リーグ戦1部 公式戦日程

日程	対戦相手	キックオフ	試合会場	会員特典 チケット補助
9月13日(日)	流通経済大学	12:30	熊谷スポーツ文化公園ラグビー場	○
9月20日(日)	関東学院大学	12:30	熊谷スポーツ文化公園ラグビー場	○
10月4日(日)	東洋大学	13:00	熊谷スポーツ文化公園ラグビー場Bグラウンド	○
10月18日(日)	東海大学	11:30	熊谷スポーツ文化公園ラグビー場Bグラウンド	○
10月25日(日)	専修大学	14:00	セナリオハウスフィールド三郷	
11月15日(日)	日本大学	11:30	太田市運動公園陸上競技場	
11月29日(日)	法政大学	14:00	AGFフィールド	

チケット購入について



熊谷ラグビー場で開催される4試合に限り、**先着70名**まで、大学ブースにてチケットを前売り券価格で販売します。



会員証をご提示いただくと、さらに**500円**を補助します。



事前にチケットを購入済みの場合も、会員証をご提示いただければ**500円**の補助を受けられます。



※ 試合会場、日程は変更になる可能性があります。

// ラグビー部 女子



日頃より立正大学ラグビー部に対し、温かいご支援とご声援を賜り、誠にありがとうございます。
本年度、ラグビー部女子には10名の新入部員が加わり、総勢35名で新たなシーズンをスタートしました。部員数は過去最多となり、7人制・15人制の両方で日本一を目指し、日々切磋琢磨しながら活動しております。

今年のチームは、選手一人ひとりが主体性を持ち、自ら考え、判断し、行動できる集団となることを目標に掲げています。仲間と支え合いながら成長し、競技力だけでなく、人としても大きく成長できるチームづくりに取り組んでまいります。

また、日頃から応援して下さる後援会の皆さまへの感謝の気持ちを忘れず、どのような状況でも最後まで諦めずに挑戦し続ける姿をお見せすることで、皆さまに感動を届け、より多くの方々に応援していただけるチームを目指します。

今シーズンも、大学日本一という目標に向かって選手・スタッフ一丸となって全力で挑戦してまいります。引き続き、温かいご支援、ご声援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



◇出身地：東京都
◇出身校：日本大学文理学部体育学科
◇競技歴：硬式野球
◇担当してきた競技：ラグビー、ラクロス、バレーボール
◇資格：中学、高等学校教諭第1種免許状（保健体育）

後援会の皆様には、日頃より本学ラグビー部の活動に温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。S&Cコーチとして、選手一人ひとりが安全に、そして最大限の力を発揮できるよう、競技特性に基づいたトレーニング指導と傷害予防の取り組みを進めております。学生たちは日々の練習や学業との両立の中で成長を重ね、仲間とともに高い目標へ挑戦しています。その過程を支えることができるのは、皆様の継続的なご支援があってこそです。これからも、選手が安心して努力を積み重ねられる環境づくりに尽力してまいります。引き続き、温かいご声援をお願い申し上げます。

ラグビー部女子リーダー

加藤 璃子 (カトウ リコ)

3年

日頃より立正大学ラグビー部への多大なるご支援、ご声援を賜り、心より御礼申し上げます。皆様の温かいご支援があるからこそ、私たちは日々全力でラグビーに向き合うことができいております。

5月末の学生大会に向けて、私たちは「粘り勝つ」をキーワードに掲げ、早いセット、素早いアクション、サポートスピードなど、アクションスピードの徹底にチーム一丸となって取り組んでまいりました。結果は5位と悔しさの残るものとなりましたが、現在地を把握し、次に克服すべき課題を明確にする貴重な機会となりました。

この学びと悔しさを糧に、さらなる成長を目指して日々の練習に励んでまいります。今後とも温かいご声援をよろしくお願い申し上げます。



令和8年度新入部員 女子

原田 唯衣	佐野 陽和	山田 清楽	山口 佳織	原 明咲
スクラムハーフ/スタンドオフ	プロップ	ロック/フランカー	プロップ/フッカー	フッカー
四日市メリノール学院	新潟市立高志中等教育学校	深谷	國學院栃木	四日市メリノール学院
平沢 結喜	和泉 ひなた	細川 優那	大竹 未久	岩原 華奈
センター/ウィング	プロップ	スクラムハーフ/スタンドオフ	スタンドオフ	フランカー
クラーク記念国際	仙台育英	北越	北越	追手門学院

日程	試合区分	勝敗	スコア	対戦相手	試合会場
5月30日(土)	POOL Bグループ	○	24-19	流通経済大学女子ラグビー部GRACE	日本体育大学 横浜・健志台キャンパス ラグビー場
5月30日(土)	POOL Bグループ	○	38-7	BRAVE LOUVE	日本体育大学 横浜・健志台キャンパス ラグビー場
5月31日(日)	準々決勝②	●	12-17	早稲田大学ラグビー蹴球部女子部	日本体育大学 横浜・健志台キャンパス ラグビー場
5月31日(日)	5位決定準決勝①	○	47-0	鎌倉返子Luminous名桜大学 琉球アイランドガールズ ラグビーフットボールクラブ	日本体育大学 横浜・健志台キャンパス ラグビー場
5月31日(日)	5位決定戦	○	48-5	流通経済大学女子ラグビー部GRACE	日本体育大学 横浜・健志台キャンパス ラグビー場



最終順位 **5位** 立正大学ラグビー部女子は
最終順位 5位で大会を終えました!

トピックス

1 第3回7人制デフラグビー世界大会 エキシビジョンマッチに参加

「太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ2026 第1戦 熊谷大会」の2日目に行われた「デフラグビー日本代表 エキシビジョンマッチ」に、立正大学ラグビー部(男子)から13名の選手が参加いたしました。

デフラグビーは聴覚障がい者によるラグビーで、レフェリーが振る旗などの視覚的合図や、選手同士の手話・アイコンタクトによって試合が進行するのが特徴です。なお、2026年10月31日からは、日本初開催となる「第3回7人制デフラグビー世界大会」が東京都内で開催されます。



2 舩尾 緑 選手 埼玉パナソニックワイルドナイツ入団



データサイエンス学部3年の舩尾緑選手が、埼玉パナソニックワイルドナイツ(Division 1)への入団を果たしました。温かいご支援をよろしくお願いいたします。

3 W.K.S.Pラグビーアカデミー熊谷校へのコーチ参加



毎週金曜日に本学グラウンドで開催される「ワイルドナイツスポーツプロモーション(W.K.S.P)ラグビーアカデミー熊谷校」に、本学ラグビー部が協力しています。C級コーチライセンスを保持するスタッフや選手数名が毎週参加し、小中学生の指導にあたっています。

4 FISU世界大学選手権 女子セブンズ学生日本代表に3名選出!

本学ラグビー部(女子)から3名が日本代表に選出されました。8月30日~9月8日の南アフリカ遠征に参加し、世界の舞台に挑みます。



九鬼 苺花 選手 | 加藤 璃子 選手 | 原田 唯衣 選手
(データサイエンス学部3年) (データサイエンス学部3年) (社会福祉学部1年)



立正大学ラグビー部後援会会員募集

◇ 会員特典 ◇

- 01 **¥500 OFF** 会員証持参で熊谷ラグビー場での立正大学戦有料試合を**500円引き**
- 02 後援会会報のメール送付(ご希望により郵送可)
- 03 立正大学学園新聞の送付

後援会費は下記QRコードより
ご納入いただけます

新規個人会員
(年会費 1口3,000円~)



新規法人会員
(年会費 1口1万円~)



皆さまのご支援をよろしくお願いいたします

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	増減	摘 要
前年度繰越金	448,066	448,066	0	
年会費	1,760,000	1,600,560	△ 159,440	個人会員 194件 641,560 法人会員 89件 959,000
総会・激励会参加費	520,000	371,000	△ 149,000	第1回運営委員会参加費 (10名×5,000円) 50,000 第2回運営委員会参加費 (8名×5,000円) 40,000 懇親会参加費 (47名×3,000円) 141,000 菅平合宿激励ツアー参加費 (14名×10,000円) 140,000
大学より協力費	200,000	200,000	0	
雑 収 入	50,000	90,000	40,000	ラグビー部後援会会員用ポロシャツ代 (2名×10,000) 90,000 ラグビー部後援会会員用ベースボールシャツ代 (10枚×7,000)
合 計	2,978,066	2,709,626	△ 268,440	

【支出の部】

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	増減	摘 要
補 助 費	1,400,000	1,400,000	0	ラグビー部への補助 (男子：1,100,000、女子300,000)
事 業 費	780,000	771,852	△ 8,148	第1回運営委員会費用 50,000 第2回運営委員会費用 40,000 懇親会費用 141,000 第11回大学女子7人制ラグビーフットボール交流大会支援金 100,000 ラグビー部菅平合宿ツアー諸費用 316,937 ラグビー部公式戦チケット補助費 (対 日本大学) 0 ラグビー部後援会会員用ベースボールシャツ代 83,600 ラグビー部後援会会員用ポロシャツ代 40,315
会報等発行費	180,000	137,500	△ 42,500	会報Vol.22 137,500
事 務 費	100,000	140,501	40,501	郵送料、封筒代等
会費振込手数料	35,000	26,078	△ 8,922	
予 備 費	483,066	0	△ 483,066	
合 計	2,978,066	2,475,931	△ 502,135	

【決算の部】

(単位：円)

収 入	支 出	差引残高 (次年度繰越金)	摘 要
2,709,626	2,475,931	233,695	事務局現金残高 189,464 振替口座残高 44,231

【収入の部】

(単位：円)

科 目	本年度予算	前年度予算	増減	摘 要
前年度繰越金	233,695	448,066	△ 214,371	
年会費	1,630,000	1,760,000	△ 130,000	個人会員 (210件×@3,000) 630,000 法人会員 (100件×@10,000) 1,000,000
総会・激励会参加費	670,000	520,000	150,000	第1回運営委員会 (20名×@5,000) 100,000 役員会、総会、懇親会 (50名×@3,000) 150,000 第2回運営委員会 (20名×@5,000) 100,000 合宿激励ツアー (20名×@10,000) 200,000 応援グッズ (10名×@12,000) 120,000
大学より協力費	200,000	200,000	0	
雑 収 入	50,000	50,000	0	総会・激励会表賀
合 計	2,783,695	2,978,066	△ 194,371	

【支出の部】

(単位：円)

科 目	本年度予算	前年度予算	増減	摘 要
補 助 費	1,400,000	1,400,000	0	ラグビー部への補助 (男子・女子)
事 業 費	950,000	780,000	170,000	第1回運営委員会 120,000 役員会、総会、懇親会 150,000 第2回運営委員会 100,000 合宿激励ツアー 300,000 大学女子7人制ラグビーフットボール交流大会への支援 100,000 チケット補助費 60,000 応援グッズ 120,000
会報等発行費	80,000	180,000	△ 100,000	会報製作・印刷代
事 務 費	100,000	100,000	0	通信費、事務用品購入等
会費振込手数料	40,000	35,000	5,000	郵便振込
予 備 費	213,695	483,066	△ 269,371	
合 計	2,783,695	2,978,066	△ 194,371	

令和7年度 事業報告

1. 後援会会員数

個人会員	194件 (令和6年度197件)
法人会員	89件 (令和6年度 90件)

2. 後援会各種行事 (令和7年)

5月20日	第1回運営委員会 (総会に向けて)
6月20日	役員会・総会・懇親会
7月9日	第2回運営委員会
8月20日	菅平合宿激励ツアー (対 環太平洋大学)
9月5日	会員証・会報発行
9月14日	1部リーグ戦公式戦応援 (対 東海大学)
9月28日	1部リーグ戦公式戦応援 (対 流通経済大学)
10月5日	1部リーグ戦公式戦応援 (対 大東文化大学)
10月25日	1部リーグ戦公式戦応援 (対 東洋大学)
11月9日	1部リーグ戦公式戦応援 (対 日本大学)
11月16日	1部リーグ戦公式戦応援 (対 関東学院大学)
11月30日	1部リーグ戦公式戦応援 (対 法政大学)

※昨年度は熊谷ラグビー場での立正大学公式戦なし

令和8年度 事業計画

- 1 ラグビー部への補助
- 2 リーグ戦等試合の応援
- 3 合宿激励ツアー・激励会の開催
- 4 地域におけるラグビーの普及推進
- 5 大学女子7人制ラグビーフットボール交流大会への支援
- 6 後援会会報の発行
- 7 新規会員の増強
- 8 ... その他



立正大学ラグビー部後援会 後援会ホームページのご案内

過去の会報誌もこちらからご覧いただけます

<https://www.ris.ac.jp/sports/rugby/meeting/index.html>



菅平合宿激励ツアー

ツアースケジュール (参加者: 25名)

午前 7時30分	熊谷駅南口 出発
午前 10時30分	試合会場到着
午前 11時00分	練習試合 (対 朝日大学) 応援
試合終了後	ラグビー部激励
午後 1時30分	菅平高原ラグビー場 出発
午後 2時30分	鬼押出し園 観光・お土産巡り
午後 3時30分	熊谷市内へ向けて出発
午後 6時00分	熊谷駅南口到着、解散

練習試合観戦



天候 : 晴 気温 27℃
場所 : 菅平高原スポーツランド
サニアパークCグラウンド
11:00 : kick off

立正大学		朝日大学
42	前半	5
7	後半	35
49	最終スコア	40

実施日: 2026年8月18日(火)



後援会会長より必勝祈願のお札と差し入れの贈呈



激励会後の集合写真

試合の感想

前半は、立正大学のチーム連携が上手く機能し、相手を圧倒しながらゲームを進めていました。一方、後半は選手の多くを入れ替えたことで、ミスが目立つ試合となりました。

昨年度と比較すると、フォワード、バックスともにバランスが良く、特にバックスの展開力が一段とレベルアップしているように感じました。

激励会

激励会では、後援会会長、立正大学副学長から、ラグビー部のスタッフ・部員へ熱い応援メッセージが送られました。また、後援会から必勝祈願のお札と学生への差し入れが贈られました。

ツアーの感想

初めて参加された方からは、「異業種交流の場としても有意義な時間を過ごすことができました」との声がありました。また、「試合の迫力を実感することができ、公式戦を観戦したいという意欲が湧きました」といった感想も寄せられました。



ラグビー部後援会
運営委員

塚田 貴幸

あとがきとして

立正大学ラグビー部後援会会員の皆様には、日頃より格別のご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。ラグビーは、選手一人ひとりの力だけでは勝利をつかむことのできない競技です。グラウンドで戦う選手、指導するスタッフ、そしてチームを支える多くの方々がつながることで、大きな力が生まれます。後援会もまた、その大切なチームの一員です。選手たちが競技に専念できる環境づくりをはじめ、遠征や大会への支援、応援体制の充実など、さまざまな活動を通じてチームを支えてまいりました。このサポート力こそが、立正大学ラグビー部の大きな強みであり、長年にわたり受け継がれてきた財産だと考えています。

今後とも、立正大学ラグビー部への変わらぬご支援、ご声援を賜りますよう、お願い申し上げます。